



THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

大学院博士全科生

2023年度入学希望者ガイダンス



放送大学大学院博士後期課程の概要①

放送大学大学院博士後期課程は、1 研究科（文化科学研究科）、1 専攻（文化科学専攻）の下に、6つのプログラムを設けています。

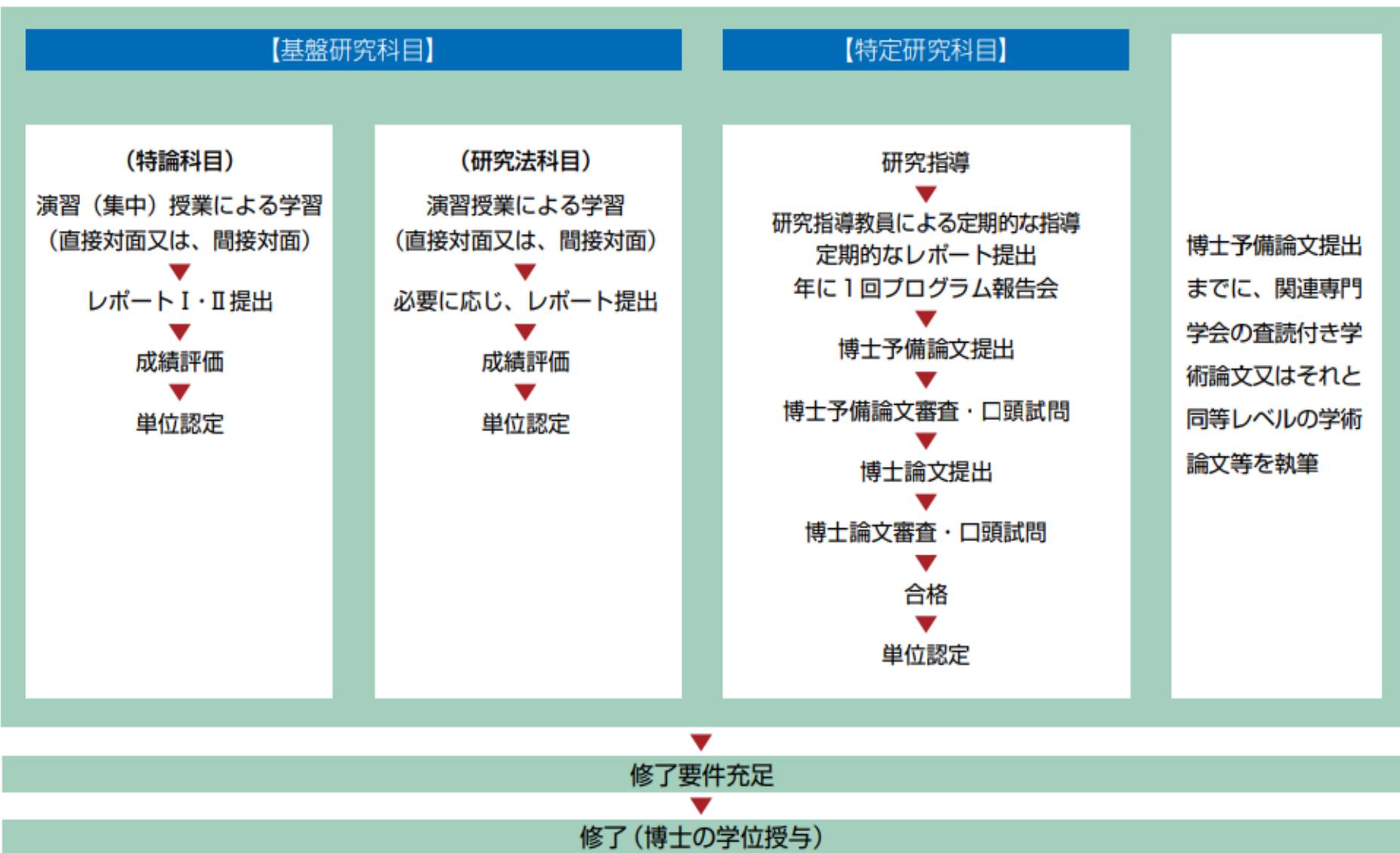
プログラム名	教育目標
生活健康科学 プログラム	生活科学、健康科学、社会福祉学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の生活と健康の向上に資する公共的施策もしくは地域社会の形成をリードすることのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成
人間科学 プログラム	心理学、臨床心理学、教育学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の心のあり方の究明とその問題状況の解決に取り組み、子どもの教育、高等教育さらには成人の学習に関わる公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成
社会経営科学 プログラム	政治学、経済学・経営学、社会学などに加えて、これらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践的に活用して直面する社会的諸課題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、社会や組織の経営・運営に関わる公共的施策を高度に指導することのできる高度な社会人研究者として公共の場で活躍できる社会分析家（アナリスト）・社会的企業家、公共政策の社会実践家・社会批評家（ジャーナリスト）、学際的・超領域的な社会研究者、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成
人文学 プログラム	哲学、文学、言語学、美学、歴史学、人類学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、さまざまなジャンルの文化の普及啓蒙や地域社会・職場等における研究の遂行や公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成
情報学 プログラム	情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し活用する高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に応用するとともに、情報とその処理、及び情報化が人間と社会に及ぼす諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成
自然科学 プログラム	数学、物理学、化学、生物学、地球惑星科学、天文学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、現下の自然科学にまつわる諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

■ 研究指導体制について

◎主研究指導教員1名（メジャー分野の教員1名）、副研究指導教員2名（マイナー分野の教員1名およびメジャー分野またはメジャー隣接分野の教員1名）の研究指導体制で博士論文作成のための研究指導を行います。



修了までの流れ



指導方法

基盤研究（「特論」と「研究法」）

第1年次（2学期）

～第2年次（2学期）

- ・メジャー分野の「研究法」
- ・メジャー分野またはメジャー隣接分野の「研究法」
- ・マイナー分野の「研究法」

第1年次（1学期）

- ・各プログラムの「特論」

特定研究（研究指導）

第3年次

- ・データ・資料の調査・分析
- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・博士論文の作成
- ・プログラム報告会

第2年次

- ・データ・資料等の整理・分析
- ・博士論文の中心的な柱となる論文作成
- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・プログラム報告会

第1年次

- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・プログラム報告会

学費

- (1)基盤研究科目は1科目2単位ですので、1科目当たりの授業料は、88,000円となります。
- (2)研究指導料は1年分（352,000円）を入学時に納入します。以後、修了まで研究指導料（1年間につき352,000円）を1年ごとに引き続き納入していただくこととなります。
- (3)在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

検定料	入学料	授業料（基盤研究科目）	研究指導料（特定研究科目）
30,000円	48,000円	1単位当たり 44,000円	1年間につき 352,000円

<修了までにかかる費用>

入 学 料	48, 000円	} 合計 1, 324, 000円 (※入学検定料含まず)
授 業 料	220, 000円 (5単位)	
研 究 指 導 料	1, 056, 000円 (352, 000円/年)	

(参考:国立大学の大学院)

入学料	: 282, 000円	
授業料	: 1, 607, 400円(535, 800円/年)	合計 1, 889, 400円

出願・入学者選考について①

出願・入学者選考スケジュール（募集要項2ページ）

【出願受付期間】

[郵 送]

● 2022年 8月15日（月） ～ 8月26日（金）消印有効

受験票：2022年9月12日（月）発送

【第1次選考：筆記試験】

● 実施日：2022年10月1日（土）

● 場 所：各学習センター

（東京渋谷・東京足立・東京多摩学習センター・サテライト
スペースを除く）

第1次選考の合否通知：2022年10月28日（金）発送

【第2次選考：面接試問（第1次選考の合格者）】

● 実施日：2022年11月5日（土）

● 場 所：Web会議システム（Zoom）による実施

第2次選考の合否通知：2022年12月23日（金）発送

障がいのある方の特別措置(募集要項4ページ)

- ◇ 障がいのある方が出願される場合は、障がいの種類等に応じて入学者選考における「受験上」および入学後における「修学上」の特別措置を行うこととしています。
- ◇ 特別措置を希望される方には、「特別措置希望調書」を提出していただきますので、下記の相談期間に、本部教務課大学院企画・入試係へご連絡ください。

- ① 相談期間:2022年6月10日(金)～7月8日(金)
- ② 相談結果:2022年8月5日(金)に通知文書を発送予定

<担当>

放送大学教務課大学院企画・入試係

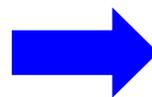
メール:in-nyushi@ouj.ac.jp

特定研究(募集要項8ページ)

- ◇ 主研究指導教員については、願書の研究テーマや研究計画等をもとに、入学試験面接試問等により領域適合性等を確認し、合格者に対して**本学が最適と判断した専任教員を充てることとしています**。副研究指導教員については、入学後のオリエンテーションでの**主研究指導教員との面談後、本学が最適と判断した専任教員を充てることとしています**。
- ◇ 研究指導は、個別やゼミナール形式による直接対面指導や、直接対面指導が難しい場合はWeb会議システムやインターネットを活用した指導を行います。どの**ような方法で指導を行うかは、入学後、主研究指導担当教員が学生と相談した上で決定**します。

プログラムの選択(募集要項8ページ)

プログラムの選択についてご質問・ご相談がある場合



メールで相談可能

E-Mail: in-nyushi@ouj.ac.jp

相談期限: 7月末日まで

(回答まで2週間程度を想定し、早めにご相談ください)

※出願後のプログラム変更はできません

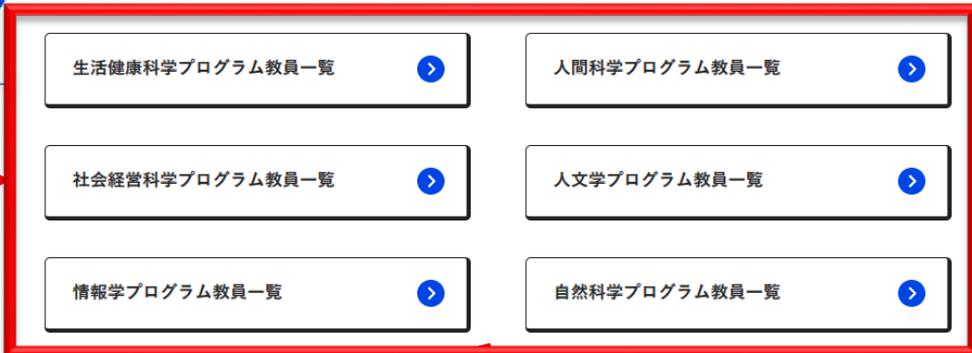
(参考) 研究者業績

1. 「大学院博士後期課程について」をクリック

2. 表示された画面を下にスクロールし「プログラム名」をクリック



教員紹介



3. 「教員名」をクリック

4. 「研究者情報」をクリック

教員一覧



研究者業績が確認できます。

- 研究分野
- 論文
- 書籍等出版物
- 所属学会
- など

※掲載項目は教員によって違いがあります。

学生へのメッセージ

佐賀県出身。教育社会学の視点と方法を基礎として、現代的諸課題に才能教育、高等教育などが最近のテーマです。相互の関連は全くなさそうですが、実は大学をキーとして密接に関わる諸テーマなのです。

関連リンク

研究者情報 (詳細プロフィール)

出願資格(募集要項9ページ)

- ◇ 修士の学位又は専門職学位を有する方(学位取得見込みの方、法令等によって修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方を含む)、または、本学大学院が行う出願資格事前審査において、修士の学位または専門職学位を有する方と同等以上の学力があると認められた方です。

出願資格事前審査(募集要項10ページ)

- ◇ 修士の学位または専門職学位を有する方と同等以上の学力があると本学大学院が認定した場合に出願資格を認める制度です。
- ◇ 最終学校卒業後に携わった研究・実務の内容等に基づいて審査を行うため、**企業・社会活動・学会等における実務経験のある方は、その経験によって修士課程等修了に相当する学力を修得したと考えるもの(著書、学術論文、学術講演、学術報告書および特許取得等)**が必要です。

【審査を希望される場合】

2022年6月10日(金)～7月8日(金)[必着]までに、募集要項10ページに記載している申請書類を、簡易書留または一般書留郵便により提出してください。

入学者選考方法(募集要項12・13ページ)

【第1次選考】(筆記試験)

- ◇ 英語読解試験では、「語彙力よりも文脈の理解力や論旨の把握力」を中心に評価を行います。
- ◇ 小論文では、「出題意図の的確な理解、客観的な論拠提示の適切さ、論理的構成や文章表現の的確さ、論理一貫性などの観点」から評価を行います。
- ◇ 過去3年分の筆記試験問題を本学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/doctor/about/past-question/>) で公開しています。

【第2次選考】(面接試験)

- ◇ 第1次選考の合格者に対して、提出された研究計画書、志望理由書および修士論文をもとに面接試験を行い、「テーマの領域適合性、受験者の研究意欲、職業・社会生活上の経験、研究者としての資質、面接応答の的確さ、研究テーマの実現可能性・発展可能性・将来性等」の観点から総合的に評価を行います。
- ◇ 最終合格者は、筆記試験および面接試験の結果に基づき決定します。 12

募集人数と昨年度の出願・合格者数

プログラム名	募集人員	昨年度出願者数	昨年度合格者数	昨年度倍率
生活健康科学	15名	20名	6名	5.44倍
人間科学		25名	5名	
社会経営科学		20名	0名	
人文学		12名	1名	
情報学		12名	5名	
自然科学		9名	1名	

出願に際しての注意事項(募集要項裏表紙ほか)

- ◇ 出願は「**郵送**」で行ってください。
- ◇ 出願できるのは**1プログラム**に限ります。
- ◇ 締切期限は厳守してください。
期限後に到着した出願書類は一切受付できません。
- ◇ 出願書類に不備がある場合は、出願を受理しないことがあります。**これまでに在籍した教育機関からの証明書の発行等に時間を要する場合がありますので、十分にご注意ください。**
- ◇ 出願書類は、巻末に綴じ込んである所定の出願用封筒に入れ、**必ず、簡易書留郵便または一般書留郵便**で送付してください。
電話等による出願書類の到着確認は行っておりませんので、日本郵便が行っている「郵便追跡サービス」でご確認ください。

みなさまのご出願を
心よりお待ちしております

放送大学
学務部教務課